

職員による自己評価

保護者による評価

**A環境面**  
 ・個室を活用し、勉強に集中できる環境や落ち着くことのできる環境、プレイルームで体を動かすスペース等確保している。  
 ・日々過ごすスペースの床を張替え、凹凸が無くなり過ごしやすい環境にしている。  
 ・手すり等が少ないため、配慮が必要。

**B児童への支援内容**  
 ・支援に関して疑問点や問題点等あれば毎月開催をしているミーティングにて職員間で話し合い支援計画書に盛り込んでいる。支援に関してはその子に応じた支援を各職員が考え、共有出来ている。

**C関係機関との連携**  
 ・学校からの引き継ぎ時に必ずその日の様子等何うようにしている。

**D保護者への説明責任・信頼関係**  
 送迎時その日の様子、普段と少し様子が違うなど常に話をしている。また、何かあるようなら早急に連絡をして対応をする等行っている為信頼関係も築けていると思う。

**E非常対応**  
 毎月地震・洪水想定避難訓練を行っている

**A環境面**  
 ・スタッフの配置数が不明。

**B児童への支援内容**  
 ・専門性やプログラムの療育的な面は更にお願したいと思っているが、スタッフみんな子どもにフレンドリーに優しく接してくれて本人も楽しんでおり、助かっている。  
 ・コロナの大変な時に半日預かって頂いた時とても助かりました。リスクのある中ありがとうございました。

**C事業所からの情報発信**  
 ・会報は定期的に出ているが、もっと回数が多いとうれしい。

**D非常対応**  
 ・概ね満足されている



事業所内での分析

**【共通点】**  
 ・その子に合った支援計画書の作成を全職員が心がけており、その結果が保護者からの意見として挙がってきているのかと思われる。また、面談時はもちろん、連絡帳・送迎時には気になる点やその日での出来事を細かく話をしている。活動スペースについても子供たちが安心して過ごせる環境づくりを心掛けている。保護者の方からも子供たちが楽しんでいる様子が伺えるとの声が多かった。

**【相違点】**  
 ・会報を作成し発行をしているが、保護者の方はもう少し情報が分かりうる物がもう少しあってもいいのではとの意見があった。

## 分析・検討してみて…

### 事業所の強み

- ・お子様の様子で普段と違うところがあればすぐに職員間で話し合いを設け、保護者の方にいち早く報告をし、今後の支援方法に関して具体的に話をする。定期的に我々が見えない部分（学校、ご家庭等）の情報を収集し、支援に繋げている。

### 事業所の改善点

- ・事業所からの情報発信が保護者の方に分かりづらい点。
- ・会報等の手紙を増やしていく。（全体、各事業所から）

### 事業所の改善への取り組み

- ・事業所からの情報発信を行う。引き続き毎月コンブリオ通信を発行。
- ・概ね満足されている保護者の方が多数いらっしゃったが、お子様が満足できるよう、会社内・外部等の研修の参加をし、全職員のスキルアップを目指していく。
- ・他事業所・地域・行政との連携を強化していく。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

皆様から貴重なご意見・ご感想をいただき、大変感謝しております。皆様からの貴重なご意見を基に、まずは職員間で皆様からのご意見を共有し、今後の支援に活かせるようにしていければと思います。また今後はより情報発信の場を設け、保護者の方々との距離を縮めていきより深い支援が行えるよう、環境づくりをしていくよう努めなければいけないと感じました。

事業所名：コンブリオ第三事業所

担当者： 三竿 哲也